

# 洗浄ソニック酵素とダイレクションEXV洗浄器の洗浄効果の報告

**汚染器材を洗わず、血液付着のままそれぞれの容器に浸漬してEXV洗浄器にて超音波洗浄を行う。**

ヒツジ全血液を疑似的汚れとしてインスツルメント、シザー、ダイヤバーに付着させて2日間常温放置することで汚染器材とした。

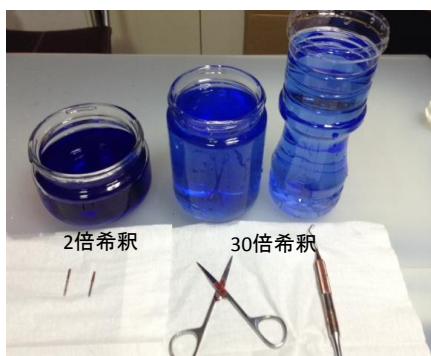


ダイレクションEXV洗浄器専用のソニック酵素を大きさの違うガラス容器2ヶと市販品の500ccペットボトルの上部を切り落としたそれぞれの容器に希釈したソニック酵素を作りPHを計測。水温が40度のお湯でソニック酵素を希釈しますとより効果的です。

**汚染器材を洗わず、血液付着のままそれぞれの容器に浸漬してEXV洗浄器にて超音波洗浄を行う。**



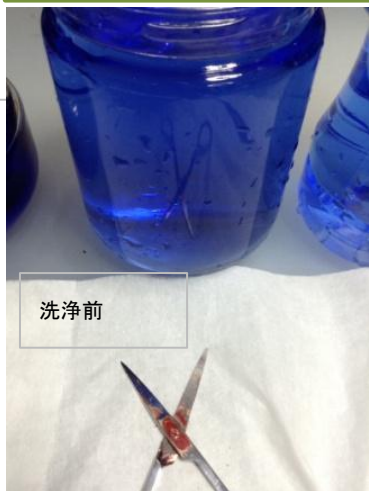
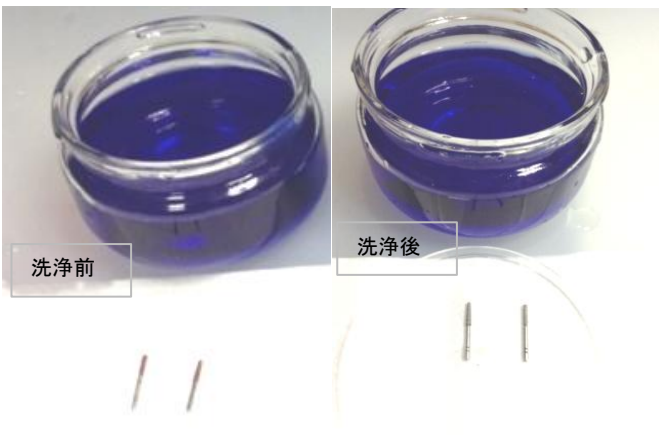
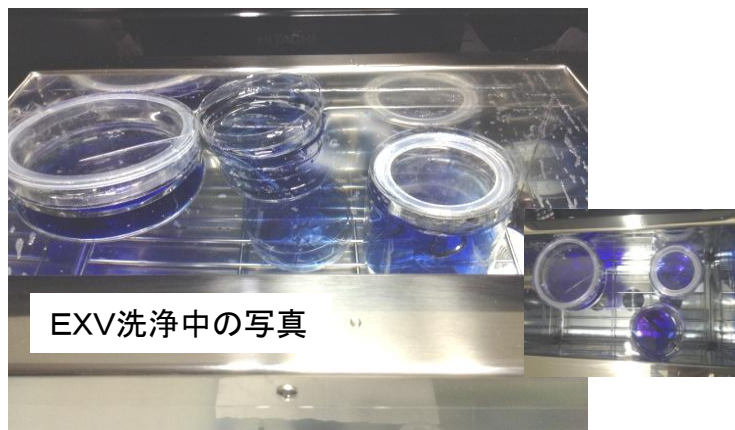
2倍希釈液の酵素のPHを計測: 11.76



それぞれの容器汚染器材を浸漬してEXV洗浄を行う。洗浄時間は2倍希釈は5分間、30倍希釈は10分間以上行う



30倍希釈液の酵素のPHを計測: 10.56

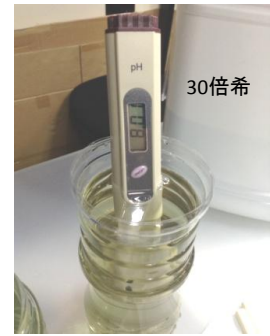
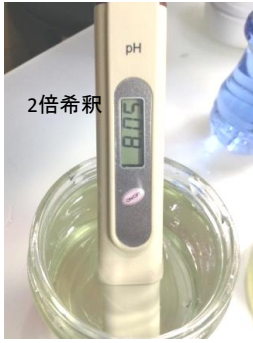




- ①EXV専用ソニック酵素の特徴:廃棄のタイミングを色の変化で確認できます。  
青色から黄色に変化したら液の交換を行います。 →
- ②準備した容器の中の酵素希釈液にヒツジ全血液を故意に入れて色の変化を確認する。  
廃棄する色に変化した酵素のPHの計測を行う。



①廃棄する色に変化



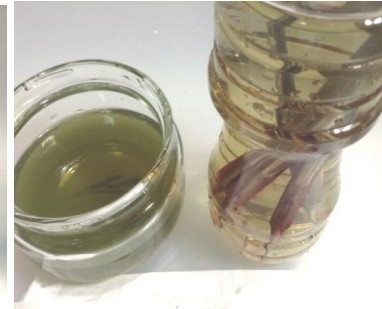
②廃棄する色に変化した2倍希釈液の酵素のPHを計測:8.05

**廃棄色の酵素とEXV-N3を併用しての洗浄カテスト**  
それぞれの容器に全ヒツジ血液を入れて廃棄する色に変化した酵素に汚染器材を浸漬してEXV洗浄を行う。  
洗浄時間は2倍希釈は5分間、30倍希釈は15分間行う

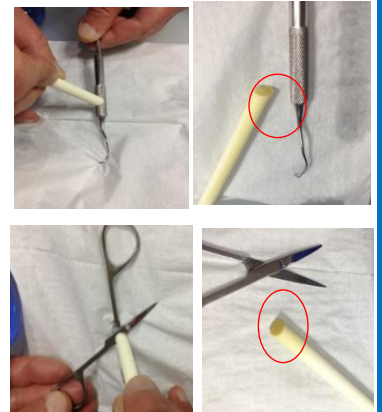
②廃棄する色に変化した30倍希釈液の酵素のPHを計測:8.01



- ③青色の希釈酵素で行った洗浄方法と同様に黄色の廃棄色に変化した酵素でインスツルメントとバー等の汚染器材をEXV洗浄器で洗浄を行う。(通常は廃棄色で洗浄は行わない) 再度酵素のPHを計測する。 →



- ③が終了したあと、廃棄色の酵素でさらに残ったインスツルメントとバー等のすべての汚染器材をEXV洗浄後 **3M Clean Trace**でスラブチェックを行い、洗浄効果を確認する。



**3M Clean Trace**  
**Surface Protein Instant**

**洗浄ソニック酵素液の交換時のPHデータ:**交換時にPH8で弱アルカリの状態では洗浄効果が残っておりますので排水時に配管へのダメージが無くパイプクリーナーとしての効果が得られながら廃棄で出来ます。弱アルカリですので錆びを呼ばずに最後まで有効的にご使用いただける洗浄酵素液です。